

輝け!子どもたち

笑顔いっぱい未来へ向かって



今日、核家族化や少子化など、家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況の中で、最近特に児童虐待により子どもの命が奪われる事件など、とても悲しいニュースがあとを絶ちません。私たち大人は、大切な子どもたちを守り育てていかなければなりません。子どもから「笑顔」が失われないように…。

子どもの心が見えますか

幼い子どもたちは、自分たちの考えや思いを、人にうまく伝えることができません。そのため、私たち大人が、子どもに心を傾け、子どもの思いを理解しようと努めることがとても大切です。

子どものつぶやきに、「ハッ」と気づかされることはありませんか？ 子どもたちは、私たちが考えている以上に、回りの人のことを良くとらえています。ちょっとしたときにつぶやく言葉の中に大人への重要なメッセージが込められていることが

「子どもの権利条約」をご存知ですか？

この条約は、1989（平成元）年に国連総会で採択され、1994（平成6）年に日本もこれに批准しました。世界中で1日何万人もの子どもたちが、病気や戦争で亡くなっています。また死にいたらないまでも、親による虐待や薬物などによって生きる権利が侵されるなど、子どもたちが苦しんでいる状況を、世界中の国々が改善することを目的に制定されました。この条約は、子どもを大人たちと平等に社会の一員として認めるとともに、保護者などの子どもに対する責任についても明確に規定されています。

子育ては社会の力で

あります。普段から、心に余裕を持って子どもたちに接するよう心がけてみてください。必ず子どもたちの心が見えてくるはずです。私たち大人も子どもだったのですから…。

自分が好き、と思える子どもは、自分が愛されている、大切にされている、必要とされていると感じている場合が多く、感情が豊かで、友だちや回りの人との関係が上手に持つ傾向があるようです。親の愛情はもちろんですが、社会全体で見守ることが大切です。

子どもたちの「つぶやき」から

【おもちゃをいっぱいだしちゃった!】
おかあさん…「さっき、片付けたばかりなのにまた、こんなにちらかして」
A 児 …「だって、まだ遊んでいるのに…」
(おかあさん ちらかしているんじゃないで遊んでいるの わかってほしいな!)

【さんぽにいくよー】
保育士…「これからおさんぽにいくから、みんなおしっこに行きましょうね」
B 児…「おしっこ、でん!」
保育士…「Bちゃん おしっこに行ってらっしゃい」
B 児…「だって でんもん!」
(本当におしっこがでないのに 先生は、どうして信じてくれないのかな?)

子育てに関する相談窓口

保育・子育て

■ 問い合わせ先 市役所駅南庁舎児童家庭課 ☎(0857)20-3461

乳幼児・育児・発達相談・新生児訪問

■ 問い合わせ先 中央保健センター（さざんか会館内） ☎(0857)20-3196

養育相談・虐待防止

■ 問い合わせ先 こども家庭支援室（さざんか会館内） ☎(0857)20-0122

回りにいる子どもたちの声が聴かれていますか？『SOS』を発信している子どもはいませんか？また、子育てに悩んでいる人はいないでしょうか？
今、子育てのためのネットワークづくりなど、社会全体で人と人とのつながりを大切にすることが叫ばれています。
社会全体で子どもたちを育て、守っていくことは、今問題となっっている児童虐待や子どもたちの人権侵害などの解決や防止につながります。
問い合わせ先 市役所駅南庁舎児童家庭課 ☎(0857)20-3462